

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科	実務経験 教員担当	
科目名称 [英語名称]	教職概論 [Introduction to the Teaching Profession]			アクティブ ラーニング	○		
科目コード	750064	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1 年次
教員氏名	田中 直美			学位授与の方針 との関連	DP2(1) DP3(1) DP3(2) DP3(3)		
授業概要	<p>本授業の目的は、教職についての理解を深め、教職に就くことについて多角的に考察することによって、主体的に学び続ける態度を形成することです【態度・志向性の育成】。授業では、(1)教職の意義、教員の役割と職務内容、(2)チーム学校への対応、(3)今日の教育が抱える課題と教師が抱える困難について学び【職業知識・技能の育成】、それらについてグループワークなどを通して多角的に考察し、自分でこれから進むべき道を選択できるようにします【自己管理能力・生涯学習力】。</p>						
関連する科目	教育原理						
授業の進め方と方法	<p>毎回の授業にて、アクティブラーニング型授業を展開します。授業は、(1)教職の意義、教員の役割と職務内容、(2)チーム学校への対応を学ぶことを通して、(3)今日の教育が抱える課題と教師が抱える困難の三部構成とし、それぞれについて講義するとともに【知識・理解の獲得】、グループワークを通して各自の教育観を多角的に考察し、深めます【汎用的技能の育成】。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション: 自分の教師像を確認する</li> <li>2 理想の教師像は必要か</li> <li>3 教師に「なる」には</li> <li>4 「法」のなかで生きる教員とは</li> <li>5 教師の役割と仕事</li> <li>6 研修と自己研鑽の必要性 教職の意義、教員の役割と職務内容について学びます。</li> <li>7 チーム学校の必要性</li> <li>8 チーム学校で求められる教師の能力 チームへの対応について学びます。</li> <li>9 いじめ問題の背景を考える</li> <li>10 モノとの対話に教師はどうかかわるのか</li> <li>11 教師と子どもの対話とはどのようなものか</li> <li>12 ファシリテーターとしての教師の在り方</li> <li>13 思考する主体としての子どもを形成するために教師はどうかかわるのか</li> <li>14 教師とはどのような存在であるべきか</li> <li>15 まとめ: 学つつける教師であるために 今日の教育が抱える課題と教師が抱える困難について考えます。</li> </ol>						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教職の意義、教員の役割と職務内容を説明できる。</li> <li>2 チーム学校への対応に必要な能力を説明できる。</li> <li>3 今日の教育が抱える課題と教師が抱える困難にどのように対応すべきか多角的に考察できる。</li> <li>4 学び続ける教師であるためにこれから取り組むべきことを説明できる。</li> </ol>						
授業時間外の学修	<p>授業中に次の授業内容を提示します。次の授業までに確認してください。(30分程度) 授業後には、授業で学んだ内容をふりかえり、要点を整理してください。(30分程度)</p>						
課題に対する フィードバック	リアクションペーパーは、疑問点やさらに考えを深めるコメントを次の授業で取り上げ全体で共有します。			評価方法	以下の項目に基づいて評価します。 リアクションペーパー 100点		
テキスト	なし						
参考書	井藤元編『ワークで学ぶ教職概論』ナカニシヤ出版、2017年。 ほかに使用する資料を授業時に配布します。						
備考	出席はとりませんが、毎回リアクションペーパーを提出してもらいます。						